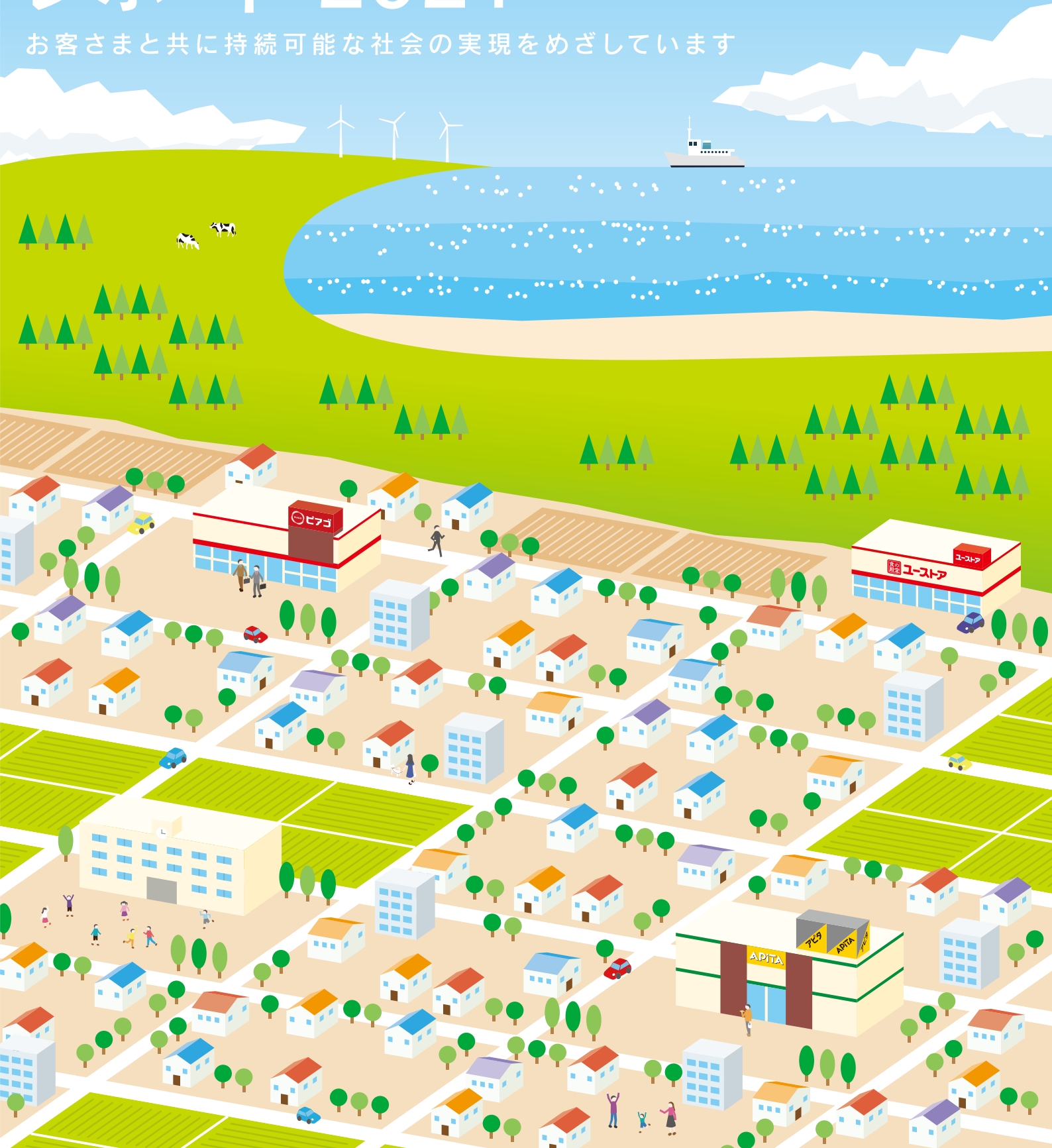


ユニー 環境コミュニケーション レポート 2021

お客さまと共に持続可能な社会の実現をめざしています





環境理念



地球規模での環境破壊が深刻化している今日、
脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現させた持続可能な社会を構築するために、
ユニーは企業活動を通して貢献します。

持続可能な社会をめざして

現在のことだけでなく未来に向かって地球環境を壊さずに、
人間や地球の生き物が共存していく社会を構築していくこと、
この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。

エコストア、 ステキな未来へはじめての一步



お買い物をする際の、ほんのちいさなエコゴコロが地球の未来を救います。
10年後、20年後の地球の未来を快適なものにするために、
ユニーと一緒に地球環境にやさしい生活をはじめませんか？



ユニーは100年後の子どもたちのためにSDGsに取り組んでいます。

ユニーは小売業として「SDGs 持続可能な開発目標」達成のため、環境活動・社会貢献活動において、お客さま、地域の方々、地域行政、お取引先さま、従業員などが一緒になって持続可能な社会をつくることをめざし、そして、お店に皆が集う地域のコミュニケーションスペースとしての機能作りにも取り組んでいます。



ユニーのSDGsの取り組み

ユニーの重点テーマ	環境				社会貢献	従業員
	持続可能な社会に貢献します					
	脱炭素社会	循環型社会	自然共生社会	環境教育	地域の方々、企業、自治体、NPOなどと一緒社会貢献・地域貢献活動を推進します	広く社会に貢献できる人材育成をめざします
ユニーの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化防止 ●環境配慮商品開発 ●省エネルギー ●スマートシティ <p>電気自動車充電スタンド設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物削減 ●容器包装店頭回収 ●食品リサイクル <p>リサイクルボックスで容器包装回収</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●食品販売を通じた生物保全活動 ●陸の豊かさを守る ●海の豊かさを守る <p>田植え体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども環境学習 ●出張授業 ●地域との環境教育 ●関連事業者連絡会 <p>子ども環境教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●被災地支援 ●エシカルなお買い物 ●認知症お買い物サポーター <p>認知症カフェ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●働きやすい職場環境 ●キャリアアップ制度 ●福利厚生 ●ダイバーシティ <p>技能研修</p>
関連するSDGs	7, 12, 13	12, 13, 17	4, 14, 15	4, 12, 17	11, 12, 17	3, 8, 11

エコ・ファーストの約束

ユニーは2008年に、環境への取り組みのトップランナーとして、環境大臣とエコ・ファーストの約束を交わしました。総合小売事業者として、自社での環境課題解決とともに、生産者と消費者をつなぎ「お買い物」を通して持続可能な社会実現を推進することを約束としています。特に、SDGsの目標である、食品廃棄削減とリサイクル推進や地球温暖化防止など、エコライフスタイルを提案し、推進することがユニーのエコ・ファーストです。

エコ・ファーストの約束
～環境先進企業として持続可能な社会構築の取り組み～

環境大臣 原田 義昭 殿 ユニー株式会社 代表取締役社長 関口 豊司

2019年6月18日

「未来の子ども達に美しい自然を残したい」

ユニー株式会社は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、環境マネジメントシステムを用いて小売業としての社会的責任を踏まえ、持続可能な社会構築を目指し、「お買い物」を通して消費者と一緒に地域に根ざした環境活動を推進します。

- 1 循環型社会構築を推進し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。**
 - 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進し、業界のトップランナーの取り組みに努めます。
 - ・地域のリサイクル事業者・農業者と連携した、地産地消の取り組みとなる全店舗での食品リサイクルループの取り組みを維持継続します。
 - ・食品リサイクルループの取り組みを更に推進し、2023年までに再生利用等実施率90%を達成します。
 - ・食品廃棄物の発生抑制の取り組みを更に推進し、2023年までに、年間売上（百万円）当たりの食品廃棄物発生量 27kg以下を達成します。
 - フロンティアのプラスチックによる海洋汚染防止の取り組みを推進し、リデュースの徹底、持続可能なリサイクル、バイオマスプラスチックの利用を促進します。
 - ・レジ袋の更なる削減に取り組み、2023年までにレジ袋の許容率90%を目指します。
 - ・食品トレイ、ペットボトルをはじめとする使用済み容器包装の店頭回収の推進を図り、全て100%国内循環に効果的に再資源化を図ります。
 - ・バイオマスプラスチックの利用促進については、有料レジ袋は、25%以上含有品、また、食品売場で使用している透明ケースには、100%含有品を使用していきます。
 - 循環小型家電のリサイクル回収を実施し、小型家電リサイクル法に基づく適正回収に取り組み、限りある資源を有効に循環させます。
- 2 持続可能な社会（脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会）構築のために、環境教育を実施します。**
 - SDGs（持続可能な開発目標）をテーマにした環境学習に取り組み、次世代を生きる子ども達に対して、お買い物を通して持続可能な社会を実現するために、学び、考え、行動する環境学習の実施を推進します。
 - ・店舗において環境学習を毎年実施し、年間一店舗平均100人以上の子ども達に環境教育を実施します。
 - ・小学校などへの出張講座の実施を推進し、年間500人以上の子ども達等に環境教育を実施します。
 - ・学習に参加した子ども達が新たな価値観を持ち、それを周囲の人に伝えていく波及効果の高い環境教育プログラムを教育機関と共に作り上げ、実施・効果測定を行います。
 - 消費者の行動変革により持続可能な社会を構築するために、店舗で環境イベントを開催し、年間5万人以上の消費者にエコライフスタイルを啓発します。
 - 店舗での省エネ・再生資源地域連携を目指し、自社の全従業員及びテナント従業員に環境教育を実施し、廃棄物削減・リサイクルを推進します。
 - 当社と取引のある環境関連事業者（廃棄物処理業・リサイクル業等）を共に集めて、法令遵守・先進技術施設見学などの環境教育を年2回実施します。
- 3 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。**
 - 「お買い物」を通して、お客様とともにサプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の削減（スコープ1,2,3）を推進します。
 - ・容器包装等が環境配慮設計された商品やリサイクル素材の環境配慮型PB商品等の開発や提供を推進します。
 - 電気自動車の普及推進のために、大型店舗に電気自動車の充電スタンドの設置を推進し、お客様に充電サービスを提供します。

ユニー株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。



エコ・ファーストの約束と環境活動

1 廃棄物の発生抑制と資源循環の推進

店舗から排出する廃棄物を削減し、食品リサイクルループを全店に拡大するなど再生資源化を推進しています。



食品リサイクルループパートナーの農場

2 SDGsを重点項目にした環境学習を実施

未来を生きる子どもたちを中心に店舗見学の受け入れや小学校などへの出張授業を実施しています。



小学校での出張授業

3 エコ・ファースト企業コラボレーション企画「エコとわざ」コンクール

環境大臣から認定を受けた各業界のエコ・ファースト企業が協働で、小中学生を対象にした「エコとわざ」コンクールを開催しています。12回目となる2021年のユニー賞は「ポイすては生きものの大てんてき」という作品が選ばれました。



環境配慮型PB商品「eco!on」

1 環境に配慮したオリジナル商品「eco!on」(エコオン)

私たちの普段の生活を省エネ・省資源といったエコライフスタイルに変えることで、持続可能な社会構築に貢献できると考えています。ユニーが企画・開発する環境配慮型PB商品「eco!on(エコオン)」は原料・製造・容器包装・販売・使用時・使用後といった、生産者から販売者・購入するお客さま・再生利用事業者などのつながりの中で、環境負荷を低減させた商品です。お買い物の際、「環境にやさしい」という視点で商品を選んでいただくことで、お客さまと一緒に地球環境の保全に貢献し、持続可能な社会の構築をめざしていきます。



3R
リデュース・リユース・リサイクル

- 容器包装が少ない
- 何度も使える(リユース)マグボトル・マイバッグ
- リサイクル素材でできている

原料の一部に店頭で回収した牛乳パックを使ったトレットペーパー

食品残さを肥料化した培養土

脱炭素社会をめざす CO₂削減

- 省エネ(LED電球、省エネ家電、クールビズ衣料)
- FSC(森林保全商品)
- バイオマス資源(植物を原料にした燃料やプラスチックはカーボンニュートラル)

時短・簡単 下ゆで野菜シリーズ

バイオマス素材 詰め替え容器

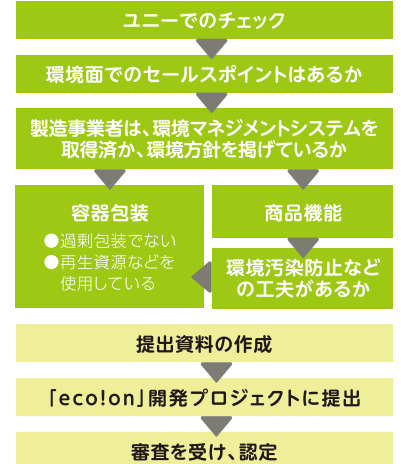
地球を汚さない

- 排水を汚さない(洗剤・廃油リサイクル品)
- 土壌を汚さない(減農薬・化学肥料農作物、オーガニックコットン)

店舗から出る揚げ油を精製して作ったハンドソープ

オーガニックコットンシリーズ

「eco!on」商品に認定されるプロセス



環境計画の概要



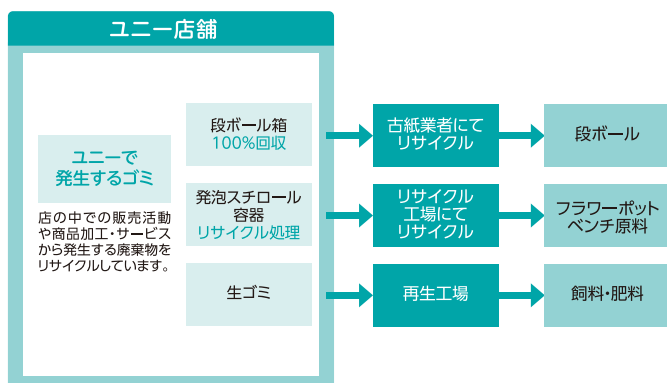
ユニーでは、エコ・ファーストの約束達成のためISO14001マネジメントシステムの範囲を拡大し、具体的な環境目標を設定しています。持続可能な社会をめざし、企業活動を通して脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現のためお客さまと一緒に「環境にやさしいお買い物」を推進します。

環境方針	2020年度結果(2020年4月1日~2021年3月31日)	評価	2021年度目標(2021年4月1日~2022年3月31日)
環境マネジメントシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ●環境大臣とのフォローアップは実施されなかった ●エコ・ファーストの約束をISO14001の実施計画に組み込み活動した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●エコ・ファーストの約束のフォローアップを環境大臣と行う ●エコ・ファーストの約束をISO14001実施計画に組み込み活動する
	<ul style="list-style-type: none"> ●エコ・ファーストの約束の達成に向けた取り組みを推進した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●エコ・ファーストの約束の達成に向けた取り組みを推進
エコストアの実現	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」の認知及び売上拡大を図った 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」の認知及び売上拡大を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見る化しお客さまに訴求した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見る化しお客さまに訴求する
環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステムを通して、省エネ教育を毎月全店にて実施した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステムを通して、省エネ教育の継続と強化
	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネの取り組みとしてCO₂を原単位で2019年度対比8.9%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネの取り組みとしてCO₂を原単位で2020年度対比3%削減
	<ul style="list-style-type: none"> ●電気使用量 564,977kwh 2019年対比△12.3% ●ガス使用量 13,877千㎡2019年対比△13.3% ●石油使用量 2,779千ℓ2019年対比△17.4% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●各使用エネルギーを2020年度対比3%削減
	<ul style="list-style-type: none"> ●物流合理化により輸送距離 1,906万km 2019年対比6.1%削減、エネルギー使用量原油換算 3,816kℓ2019年対比5%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●物流の合理化による環境負荷低減を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ●段ボール使用量 2019年対比△18.9% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●段ボール使用量を2020年度対比3%削減
	<ul style="list-style-type: none"> ●PB商品容器包装資材重量 2019年対比15%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●PB商品の容器包装資材の軽減化を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ●包装資材重量 2019年対比2%削減 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●包装資材重量を2020年度対比3%削減
	<ul style="list-style-type: none"> ●レジ袋辞退率 89.4% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●レジ袋辞退率 89.7%
廃棄物の適正処理とリサイクル推進	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物総排出量 18.9%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物総排出量2020年度対比3%削減
	<ul style="list-style-type: none"> ●食品リサイクルループの取り組みを全店で継続した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●食品リサイクルループの取り組みを全店で継続
	<ul style="list-style-type: none"> ●食品リサイクル率 76.4% ●発生抑制 売上高100万円当たり 25.0.kg ●食品再生利用等実施率 86.6% 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 売上高100万円当たり 24.7kg ●食品再生利用等実施率 87%
	<ul style="list-style-type: none"> ●牛乳パック回収量 407t 2019年対比△6% ●食品トレイ回収量 226t 2019年対比△5.6% ●アルミ缶回収量 621t 2019年対比0.5%増 ●ペットボトル回収量 2,108t 2019年対比△8.2% ●リサイクルボックス回収実績合計 6.3%減少(既存店ベース3.2%増) 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●全店4品目を回収 ●リサイクル回収量を増やす
	<ul style="list-style-type: none"> ●バイオマスプラ製容器包装の使用品目は増やせなかったが、食品売場の透明ケースについては継続して使用した 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●バイオマスプラ製容器包装の使用を促進する
環境情報の開示と環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」をHP等で紹介し、拡販した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型PB商品「ecolon」の拡販
	<ul style="list-style-type: none"> ●クリーンキャンペーン全店で年1回実施 1,487名参加 上期はコロナ禍のため中止 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●クリーンキャンペーン全店で年2回実施する
	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員への環境教育の継続・強化 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員への環境教育の継続・強化
	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども環境学習は、コロナ禍のため開催せず 出張講座(小学校等) 2回実施 32人参加 小中学校見学受入 33回実施 1,841人参加 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども環境学習、出張講座(小学校等)の継続実施
	<ul style="list-style-type: none"> ●エコ博は、コロナ禍のため開催せず 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的なエコ博の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ●環境関連事業者(取引先)連絡会セミナーは、コロナ禍のため開催なし 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●環境関連事業者(取引先)連絡会セミナー開催
環境汚染防止	<ul style="list-style-type: none"> ●排水水質検査全店実施、基準値以内法令遵守 ●低濃度PCBの適正管理を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●全店舗での排水水質監視を実施 ●低濃度PCBの適正管理
	<ul style="list-style-type: none"> ●フロン排出抑制法の対応をISO目標として法令遵守 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●フロン排出抑制法の適正対応を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理法の適正対応を実施した 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理法の適正対応を実施

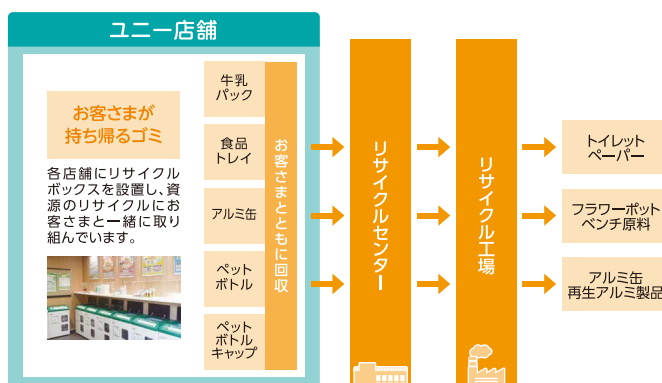
廃棄物を削減する取り組み 循環型社会



全店舗に廃棄物計量システムを導入し、廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進しています。



物流センターからの商品納品
商品搬入時に商品を入れてきた段ボール箱や発泡スチロール容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。



ユニーで発生するゴミ 循環型社会

廃棄物排出量

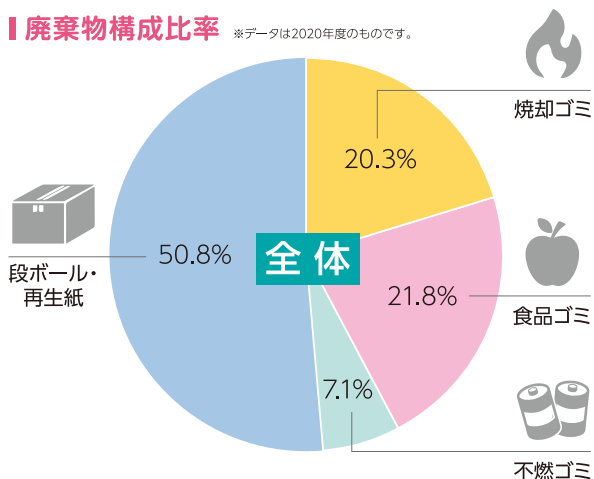
※データは2017年度までは2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度は4月1日～翌年3月31日までのものです。(単位:t)

区分	種類	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ						
	一般可燃ゴミ	11,879	11,536	11,204	10,219	8,012	78.4
	ビニール(食品系)	4,062	3,903	3,697	3,216	2,625	81.6
	小計	15,941	15,440	14,901	13,435	10,637	79.2
	生ゴミ	13,226	12,395	11,736	10,508	8,517	81.1
	魚のアラ	2,067	2,141	1,931	1,694	1,374	81.1
不燃ゴミ	てんかす	961	918	833	787	652	82.8
	廃食用油	1,199	1,182	1,119	1,019	870	85.4
	小計	17,453	16,636	15,618	14,009	11,413	81.5
	発泡スチロール	799	734	673	607	544	89.6
	プラスチック	423	417	394	402	334	83.1
	ビニール(衣、住系)	869	885	884	802	670	83.5
紙類	ビン	1,474	1,532	1,530	1,387	1,223	88.2
	缶	442	449	427	381	321	84.3
	ペットボトル	451	439	469	418	350	83.7
	陶器・ガラス	105	122	148	120	106	88.3
	金属ゴミ	146	144	141	124	104	83.9
	その他	94	93	102	94	76	81.1
	小計	4,802	4,815	4,768	4,335	3,728	86.0
	段ボール	38,181	36,289	34,307	30,896	25,057	81.1
	紙類(再生可)	2,439	2,423	2,283	2,006	1,621	80.8
	小計	40,620	38,712	36,590	32,902	26,678	81.1
合計		78,817	75,603	71,877	64,681	52,456	81.1

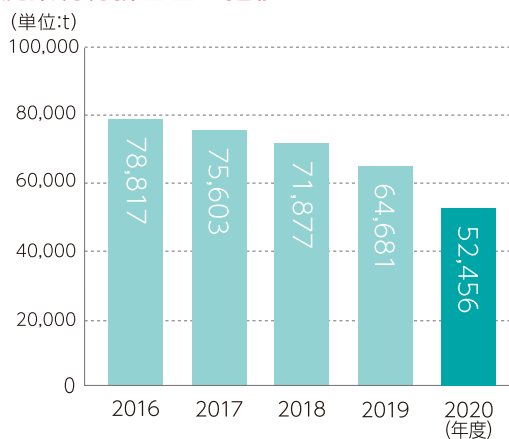
※端数を四捨五入処理しているため、合計数値と一致しない場合があります。

廃棄物構成比率

※データは2020年度のものです。



廃棄物総排出量の推移



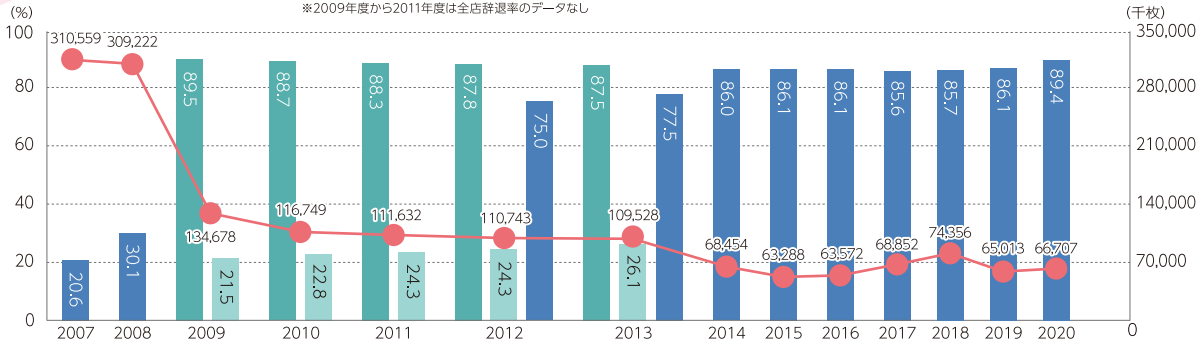
レジ袋辞退率の推移とレジ袋使用量の推移について

循環型社会

レジ袋辞退率の推移

■全店辞退率 ■有料化店舗 ■非有料化店舗 ●枚数(単位:千枚)

※データは2017年度までは2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度は4月1日～翌年3月31日までのものです。
※2009年度から2011年度は全店辞退率のデータなし



レジ袋使用量と容器包装リサイクル法委託金額の推移

年度	枚数(単位:千枚)	重量(単位:t)	委託金額(税込)
2007	310,559	1,818	2億9,729万円
2008	309,222	1,851	2億7,978万円
2009	134,678	1,029	2億2,272万円
2010	116,749	964	1億6,655万円
2011	111,632	851	1億6,154万円
2012	110,743	839	1億4,868万円
2013	109,528	821	1億5,804万円
2014	68,454	616	1億6,104万円
2015	63,288	587	1億3,557万円
2016	63,572	573	1億2,489万円
2017	68,852	548	1億3,665万円
2018	74,356	583	1億0,708万円
2019	65,013	512	1億0,306万円
2020	66,707	489	9,812万円

※容器包装リサイクル法に基づき、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払った委託金額

容器包装とリサイクル

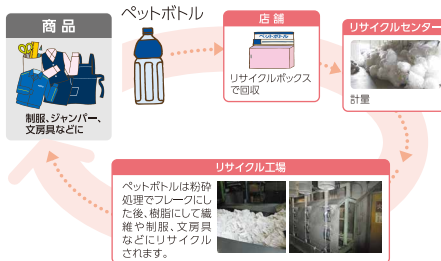
循環型社会



使用済み容器包装のリサイクルループ

リサイクルボックスで使用済みの容器包装を回収、再資源化し、製品として販売等のリサイクルループを構築しています。

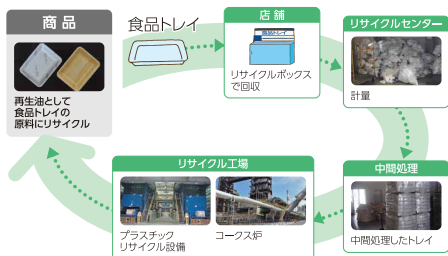
ペットボトルのリサイクル



食品トレイのリサイクル



食品トレイのケミカルリサイクル



牛乳パックのリサイクル

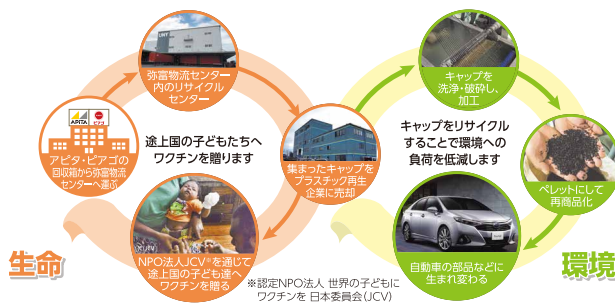


アルミ缶のリサイクル



ボトルキャップ運動

ユニーでは回収したペットボトルキャップを、プラスチックの再生企業に売却し、NPO「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しています。



食品リサイクルシステム

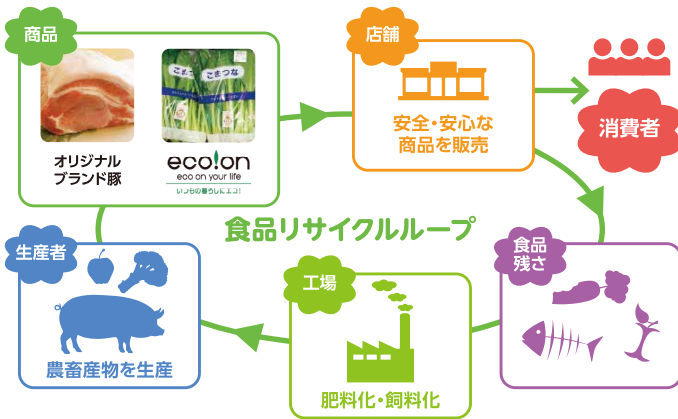
循環型社会



世界中で食品廃棄は大きな問題であり、日本では食料自給率が40%に満たないにもかかわらず、毎日たくさんの食料を廃棄しています。ユニーでは、食品リサイクル法を遵守し、未利用食品を食品リサイクルループによる地域循環型農業で利活用し、食品ロス削減に努めています。

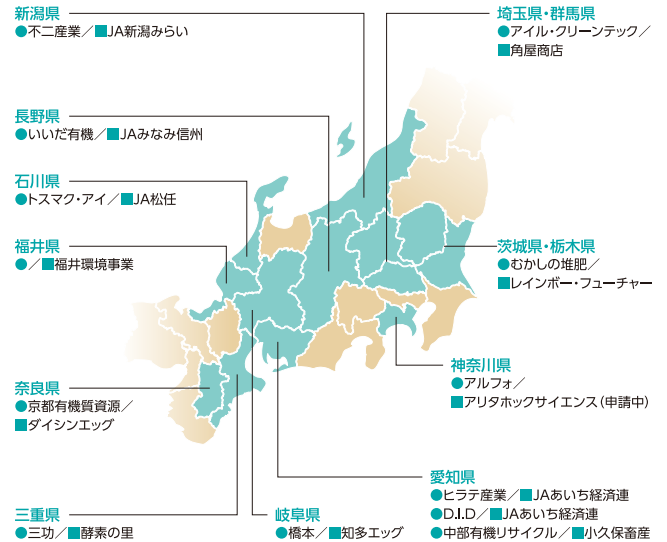
食品廃棄物の削減・リサイクル強化

ユニーでは、各店舗で発生した食品残さをたい肥や飼料として地域循環型農業で利活用し、そこで生産された農畜産物を店舗で販売する「食品リサイクルループ」を実施しています。「食品リサイクルループ」でできた商品の中には、環境配慮型PB商品「ecolon(エコロン)」認定の野菜や、オリジナルブランド農畜産物の「悠健豚」や卵の「さらら」があります。この取り組みを全店舗で実施し、2023年までに再生利用等実施率90%の達成をめざしています。



食品リサイクルループ

(●再生利用事業者 / ■農畜産物生産者)



食品リサイクル実績

循環型社会

国への報告数値「再生利用等実施率」の2020年度の実績は86.6%でした。小売業の目標である60%を大きく上回っています。

リサイクル実績

※データは2020年4月1日～翌年3月31日までのものです。

店舗から発生する食品廃棄物(未利用食品)	2018年度			2019年度			2020年度		
	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)
生鮮食品の調理クズ(野菜・果物など)、消費期限・賞味期限切れや飲食の食べ残し	11,736	8,300	70.7	10,508	7,438	70.8	8,517	6,034	70.8
魚のアラ(魚介類の調理クズや頭・骨や皮など)	1,931	1,777	92.1	1,694	1,613	95.2	1,374	1,316	95.7
廃食用油(使用済み揚げ油)	833	814	97.7	787	603	76.7	870	870	100.0
てんかす	1,119	1,119	100.0	1,019	1,019	100.0	652	501	76.8
合計	15,618	12,010	76.9	14,009	10,674	76.2	11,413	8,721	76.4

※端数を四捨五入しているため、合計数値と一致しない場合があります

食品リサイクルの推移

※データは2020年4月1日～翌年3月31日までのものです。

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
食品廃棄物発生量(t)	19,605	21,436	22,908	21,210	19,944	19,089	18,650	18,432	18,075	17,453	16,636	15,618	14,009	11,414
リサイクル量(t)	6,656	7,561	9,444	10,378	10,812	10,874	11,099	11,066	11,126	11,107	11,869	12,010	10,674	8,721
リサイクル率(%)	34.0	35.3	41.2	48.9	54.2	57.0	59.5	60.0	61.6	63.6	71.3	76.9	76.2	76.4
再生利用等実施率(%)※	34.0	47.3	48.9	59.0	64.1	66.5	69.6	69.7	72.9	74.9	80.6	85.1	84.8	86.6
食品廃棄物等の発生原単位(売上高百万円当りの発生量:kg)	44.0	35.8	39.0	35.6	34.7	34.2	32.8	33.0	31.3	30.4	29.9	28.4	28.2	25.0
発生原単位の対前年度比(%)	-	81.4	108.8	91.4	97.3	98.5	96.1	100.7	94.7	97.3	98.1	95.1	99.2	88.7

※当該年度の単純実施率に2007年度比の発生抑制を加味した値

地球温暖化の原因となるCO₂などの温室効果ガスの排出を防ぐため、日本は2030年度における削減目標を2013年度に比べ46%削減することをめざすことを表明しました。ユニーではお客さまと共に、普段のお買い物を通してCO₂の削減について考えていきます。

電気自動車の充電スタンドを設置

ユニーは充電スタンドの設置を推進しています。お客さまがお買い物中に充電していただくことができ、遠方からも安心してご来店いただけます。また充電スタンド本体に、日本政府が推進する国民運動「COOL CHOICE」の旗印となるロゴマークを掲示して利用を促しています。



再生エネルギーの導入

事業活動を通じて排出されるCO₂排出量を削減するため、一部店舗において太陽光発電を導入しています。将来のエネルギー源としての再生可能エネルギーの実効性を検証し、環境負荷の少ない事業活動を推進していきます。



省エネルギー・省資源活動

脱炭素社会

エネルギー使用量の推移

※データは2017年度までは2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度は4月1日～翌年3月31日までのものです。
※エネルギー使用量は店舗合計の数値



2020年度のCO₂排出係数は下記より換算しました。
●環境省温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度について 電気事業者別CO₂排出係数 (2019年度実績)
●サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.3.0)

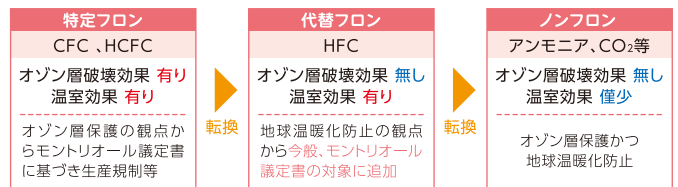
フロン排出抑制法への対応 脱炭素社会

地球温暖化とオゾン層破壊の原因になるフロンの排出抑制を目的に、フロン排出抑制法が2015年4月1日に施行されました。業務用エアコン、冷凍冷蔵機器の管理者に、機器およびフロン類の適切な管理が義務付けられました。

ノンフロン製品への転換が迫られています

古い機器の多くに特定フロンのR22等のHCFCが使用されていますが、オゾン層保護法によって2020年までに生産が廃止されました。また、2016年10月に開催されたオゾン層保護に関する条約の締約国会議でHFCの代替フロンも、オゾン層の破壊係数は低いものの、先進国は2019年から段階的に削減されます。

◆フロン対策の推移



ノンフロン冷蔵ケース

アピタ横浜綱島店の飲料売場にはフロンガスを使用しないCO₂冷媒を用いたノンフロン冷媒ケースを導入しました。地球温暖化の原因物質の排出を抑える狙いがあります。



ノンフロン冷蔵ケース

◆フロン類算定漏えい量 (t-CO₂)

※データは2020年4月1日～翌年3月31日までのものです。

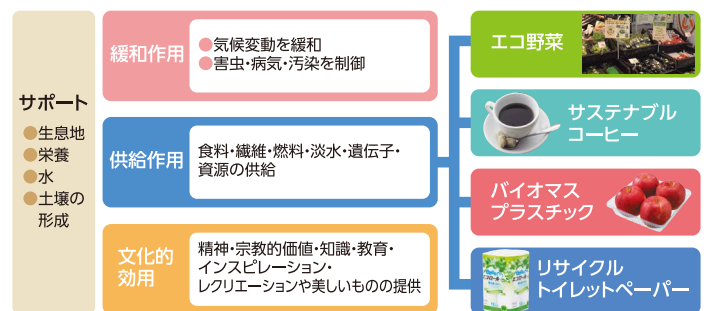
フロン類の種類	R22	R404A	R410A	R134A	R407C	R448	合計
2020年度	9,331	4,360	3,521	0	101	218	17,531



生物多様性 自然共生社会

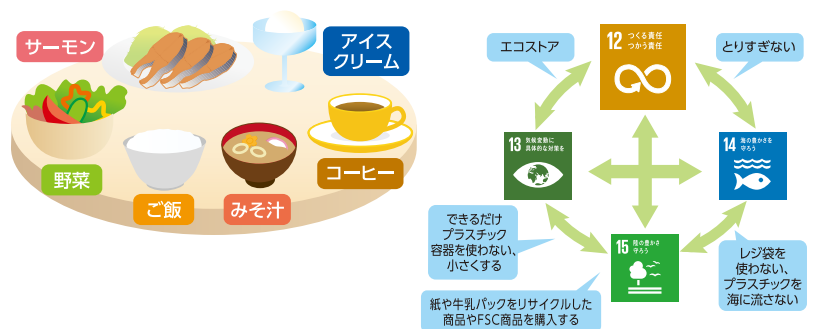
生物多様性を守る取り組み

私たちが生きていくために必要な酸素は植物によって作られ、汚れた水は微生物などによって浄化されています。そして人間は他の生き物の生命を食べて生きています。そして、生き物からの「恵み」をもたらす生物多様性を守って作られた食べ物や製品を選んで購入することが、生物多様性を守ることに繋がります。ユニーはこうした「供給作用」をお客さまと一緒に「お買い物」を通して行なっています。



テーブルの上の生物多様性

ユニーの店頭に並んでいる食品は「生物多様性の恵み」です。「私たちは生き物の命をいただいて生きている」ことに感謝し、自然環境やそこで生きる生き物を保全して生産された食品を選ぶことで、生物多様性に貢献することが私たちの務めです。



子ども環境教育

ユニーは持続可能な社会構築のために環境学習を実施しています

ユニーはESD(持続可能な開発のための教育)の考え方を取り入れた環境学習に取り組み、現在のことだけでなく、未来のことを考え、子どもたちが美しい自然の中で生きていくための「力」をはぐくむことを願い、活動しています。

店舗での子ども環境学習

お店で行われている環境保全活動や環境にやさしいお買い物について学ぶ機会として、店舗でのエコイベントや出張講座を実施しています。身近なスーパーでの環境学習を通じて、これからの持続可能な社会を生きる子どもたちがグリーンコンシューマーになることを望みます。

1 アピタ各務原店ミニエコ博

買い物に訪れたお客さまが気軽に参加できる環境イベント「エコ博」を開催。クイズや店舗内のリサイクルステーションや環境に配慮した商品を見て回る「お店探検隊」を実施しました。

2 出張講座

小学校を中心に、児童館、保育園、高校で出張講座を実施しています。お店の取り組みやリサイクルの仕組み、環境に配慮した商品「eco:lon」や環境ラベルなど、環境にやさしいお買い物についてお話しします。

3 地球にやさしいお買い物

環境ラベル探しゲーム

文房具などの身近な商品を観察して環境に配慮した商品にはマークがついていることをゲームを通して知ってもらいます。

4 エコ工作にチャレンジ

エコバッグとしても使えるオリジナルの風呂敷作りや、使用済み容器などを使った工作を通じてごみの削減やレジ袋を使わないお買い物について学びます。



環境マネジメント (ISO14001) の取り組み

ユニーの環境理念に「持続可能な社会を構築するために、企業活動を通して貢献する」と明記しています。持続可能な社会とは、現在のことだけでなく、未来に向かって地球環境を守り、人間が自然と共存し、誰もが平和で幸せに暮らせる社会です。この大きな目的を果たすために、ユニーはISO14001環境マネジメントシステムを用い、店舗や事務所の環境影響を調べて改善することに努めています。そして、お客さまと一緒に「環境にやさしいお買い物」によって持続可能な社会実現をめざしています。

ISO14001をアピタ・ピアゴ全店で認証取得

2004年1月の本社事務所を皮切りに各地区事務所が認証を取得しました。その後、店舗においても、従業員自らが環境問題について考え、環境マネジメントシステムを運用する事が重要だと判断し、2019年7月に全店の認証を取得しました。

認証取得にあたり、ユニーオリジナルのISO教育DVDを作成、また、内部監査員養成研修を修了した社員418名が各店舗に出向き、理解活動に努めました。店舗では、毎月ISO推進委員会を開催し、環境実施計画書の具体的な数値評価・点検・見直しを実施しています。



従業員集合教育の様子



従業員から提案された「環境側面」という重視すべき環境課題に取り組む



店舗審査の様子

ISO14001推進のための社員教育

環境マネジメントの適正な運用と環境法令遵守など、部署や店舗の業務から環境側面を抽出し、環境実施計画を策定。目的目標を達成するために必要な力量を得るための教育を全従業員に年2回行っています。

◆店舗におけるISOの環境目標

- ① 電気使用量の削減
- ② 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 排水水質基準の遵守
- ④ 環境関連法令の遵守
- ⑤ 営業と一体となった地域貢献活動

数字で見るユニー

お客さまや地域と共に行動をおこすことで、ユニーの環境目標達成に努めています。

※データは2020年4月1日～翌年3月31日までのものです。

4 質の高い教育をみんなに

環境学習参加者

1,873人

(2020年度実績)

次世代を生きる子どもたちへ、店舗での体験型イベントの開催、「環境にやさしいお買い物」をテーマとした出張講座などを行っています。

12 つくる責任 つかう責任

食品再生利用等実施率

86.6%

(2020年度実績)

店舗の食品残さを堆肥や飼料にリサイクルを推進し、食品リサイクルループを全店に拡大しています。

14 海の豊かさを守ろう

レジ袋辞退率

89.4%

(2020年度実績)

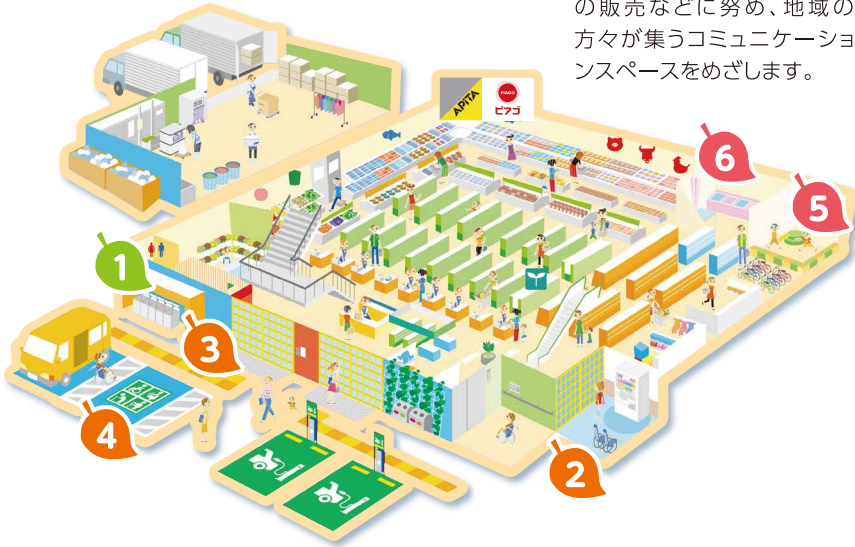
お客さまと一緒に「使わなくてもよい容器包装」の使用削減に努めています。

社会貢献・地域貢献



店舗での取り組み

ユニーの店舗ではすべてのお客さまが快適にお買い物を楽しんでいただけるように、店内の工夫をしています。また、地域の方々の協力のもと、「地球にやさしいお買い物」を進め廃棄物の削減・分別の実施、環境にやさしいプライベートブランド商品の販売などに努め、地域の方々が集うコミュニケーションスペースをめざします。



- 1 リサイクルステーション**
お客さまのお買い上げ後にゴミになるものを回収し、リサイクルしています。
 - 2 車椅子の無料貸し出し**
店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。
 - 3 段差のない入り口**
段差にはスロープをつけ、公道入り口から各玄関まで誘導ブロックを設置しました。
 - 4 おもいやり駐車場**
体の不自由な方、高齢者の方、妊産婦の方などのための優先駐車場です。
 - 5 小さなお子さまの遊び場**
お子さまに安全に遊んでいただけるように、ソフトな素材を使用した遊びのスペースです。
 - 6 ベビー休憩室(赤ちゃんルーム)**
お子さまの授乳やおむつ替えにご利用いただけるベビー休憩室です。
- ！ 大規模災害への備え**
大規模地震や災害が発生した時に地域の避難拠点としてご利用いただける設備を設置しています。
- **かまどベンチ**
非常時の炊き出しに利用できるベンチです。
 - **災害用トイレ**
スツールの中に便器が収納されているので組み立てて使用します。
- ！ バリアフリー新法**
すべてのお客さまに快適にお買い物をしていただくため、バリアフリー新法に対応した店づくりに取り組んでいます。

ベルマーク運動

日頃のお買い物を通して行なっている被災地支援の一環として、2012年から継続してベルマーク運動に参加しています。お客さまや従業員から集まったベルマークは、ベルマーク教育助成財団を通じて被災地の子どもたちの教材や文房具などに役立てられています。



クリーンキャンペーン

ユニーでは毎日店舗周辺の清掃活動を行っています。6月と10月の環境月間には、通学路や、公園、遊歩道など範囲を広げて一斉清掃を行なっています。



エシカルなお買い物

アピタ・ピアゴの店舗でフェアトレード商品を取り扱い、販売することで生産者の生活改善や自立、生産地の環境保全などを支援したいと考えています。



パートナーとのドネーション企画

2015年から毎年12月にご購入いただいたハーゲンダッツアイスクリーム1点につき1円を積み立て、認定NPOのご協力のもと、被災地の子どもたちへおもちゃ等を届ける活動を行なっています。



2022年3月発行



「未来の子どもたちに美しい自然を残したい」

ユニーは環境にやさしい生活をお客さまと一緒に進めていきます。



ユニー株式会社
愛知県稲沢市天池五反田町1番地
<https://www.uny.co.jp/>

